

令和2年度第2回前橋市食育推進会議（書面会議）
意見および質問に対する回答

（議事1） 令和2年度下半期食育実績シート

意見・質問あり

No.	質問者	ご質問	回答
1	委員	①学校給食共同調理事情（東部センター）のコロナ対策について、どのくらいの期間休みとなったのか？ 他センターによる協力で、補うことはできなかったのか。 ②今後発生した場合も同様の対応なのか？	①1/25（月）～1/29（金）まで調理場が閉鎖しました。当初27日まで閉鎖予定でしたが、勤務者全員のPCR検査の結果が27日までに判明しなかったため、延期としました。 全員がPCR検査対象となったことにより、他の調理場からの応援職員だけでは補うことは困難でした。また、東部共同調理場は約5,300食を担当しており、他の調理場に振り分けることは、納品された食材の移動や各調理場から学校への配送距離・時間の点からも困難でした。 ②発生した場合の規模にもよりますが、日頃から非常時を想定した業務体制を検討し、給食停止とならないよう適切に対応したいと考えております。
2	委員	健康増進と豊かな人間形成のために食に関する知識や食物をえらぶ力を身につけ、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事をし、食文化への推進につながればと思います。	第3次食育推進計画の基本目標1に「生涯健康なからだをつくる」を掲げ、栄養バランスや適切な料理の質・量、自分の適性体重など、自分のからだや健康について関心をもち、自分で料理ができるよう、自立した食を営む力を身につけること、さらに早寝早起きや適度な運動、規則正しい食生活を実践することで、生涯にわたって健康なからだをつくる、としています。また基本目標3に「地域の食文化をつたえる」を掲げています。今後も基本目標に向けて各事業を推進していきます。
3	委員	素晴らしい実績シートなので（特に期待される効果等）、多くの方々にお知らせ出来たらと思います。	書面開催ではありますが「前橋市付属機関等の設置の指針及び運営に関する要綱6条」に基づき、会議録を作成公表するため、前橋市のホームページに掲載する予定です。また、他の方法で周知出来ないか検討させていただきます。
4	委員	事業の数が多すぎませんか？	同じ事業を異なる部署から報告を挙げていたため、事業数が多くなりました。今後は、同じ事業はまとめて報告させていただく等の対応をさせていただきます。
5	委員	今年度はコロナ禍で変更、中止になった事業が多くありましたが、「食」に関して家庭内で見直したり話題になることも多く、食育の機会もあったのではと感じました。来年度もいつも通りにはできませんが、ぜひ継続して欲しい事業がたくさんあると思います。	今年度はSNSツールを用いた情報発信、食育パネル展、食育動画等、今までにない取組の報告が多数ありました。新しい生活様式に合わせた取り組みは、今後も継続して実施していく予定です。また、家にいる時間も増えた為、家での食事の見直しにもつながるよう来年度も継続して情報発信をしていきたいです。
6	委員	コロナ禍の中、いろいろと工夫したりしてたくさんのかた方につたえていこうという思いが伝わりました。	令和2年度は対面による教室が中止になったため、今までとは異なった情報発信を始めました。これを機に今まで教室に参加しなかった方々へ知っていただく機会になることで全体の食育の推進にもつながってほしいと思います。
7	委員	コロナ禍の中、様々な工夫をし、新たな試みに取り組まれていると感じました。	
8	委員	わかりやすく整理されていると思います。	こういった事業のまとめを行うことで、庁内の食育の動きを把握できますので、今後も引き続き継続していきたいと思っています。

（議事2） 食育動画の紹介について

意見・質問あり

1	委員	可能であるならば、生で食したほうが栄養分を摂取できる野菜、加熱したほうが栄養が摂取できる野菜の分類のような、素材についても説明があったらと思います。	ご意見を参考にさせていただきます。
2	委員	若い世代が将来の健康を維持出来るよう、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とし、高血圧、高コレステロール値、血糖値などの項目が高い学生が多く病気に対する危機感を持つような動画です。	若い世代への食育も推進していますので、今後の参考にさせていただきます。
3	委員	YouTubeで動画を見ました。私はいつもYouTubeで料理動画を見ているのですが、それらと比べても、とっっても見やすく、わかりやすく参考になりました。	動画作成にあたり、子供から高齢者まで分かりやすいようにオリジナルのキャラクターを使って栄養講話に説明を加えたり、飽きずに最後まで見ていただけるよう、再生時間も長くならないよう工夫しました。
4	委員	意見を反映していただきありがとうございます。栄養についての話とレシピを同時に知ることができました。朝食編、おやつ編、一人暮らしオススメレシピ、幼児オススメレシピなどテーマ別の配信も見やすくなるのではないのでしょうか。	前回の会議の際にいただいたご意見を元に、食育動画の作成に取り組みしました。今後、本市の栄養課題である朝食欠食等の改善につながるテーマも予定しています。また親子で楽しく見られる内容にもなっていますのでぜひご周知いただき、ご覧いただければと思います。
5	委員	旬のれんこんを使ったレシピは良かったのですが、前橋の特産品を使ったレシピもあるといい。直売所の野菜コーナーなどで周知することもできるのでは？	今年度、農政課と連携し「食べようまえばし管理栄養士おすすめ地産地消レシピ」を作成し、今後周知する予定です。直売所とも連携して野菜レシピを周知出来ればと思います。ご意見を参考にさせていただきます。
6	委員	レシピの紹介は参考になります。地産のブロックリーなど身近な材料（季節によって違いますが）を取り入れたレシピもよいかと思いました。	来年度も食育動画の作成・配信を予定しています。地産地消の周知を踏まえてご意見を参考にさせていただきます。
7	委員	親しみやすくわかりやすいが、映像は会話の部分とか文字が出ている部分を音声で出した方が良かった。	動画作成にあたり、検討させていただきます。
8	委員	動画を拝見させていただきました。視聴者の感想を聞きながら、今後もより前橋らしい魅力ある内容にしていけるとよいと思います。最近はクッキングだけだとクックパットやクラシルなど若い人がみるのも多いので、ころとんに参加してもらおうなど、また前橋の郷土料理を取り入れるなど工夫していくとよいと思いました。動画は簡単なつくりやすい料理で良かったと思います。	今現在、市民から問い合わせや意見はありませんが、今後市民の声も参考に出来ればと思います。またころとんのコラボや前橋市の郷土料理の紹介についても今後の参考にさせていただきます。

(議事3) 食育に関する意識調査について

①一般用

意見・質問あり

1	委員	減塩に対する情報をパネルにし掲示していただき、1日当たりの食塩摂取目標量に関しては日本人の食事摂取基準2020年版に準じた内容で掲載してもらい食塩の正しい基準で健康になればと思います。	周知する際は、日本人の食事摂取基準2020年版やその他厚生労働省の情報に準じて内容の見直しを行っています。食塩摂取目標量に関して、アンケートに掲載する情報として追加するかということを含め、周知方法等、検討していきたいと思います。
2	委員	多くの一般の方々に見ていただけたら良いのと思います。	一般用のアンケートは、市内在住の満20歳以上の男女2,000人を住民基本台帳より無作為抽出し実施する予定ですが、調査結果は、広報まえばしやホームページに掲載し、市民の方に周知させていただきます。
3	委員	質問に対する答えが多すぎる事、あてはまるものすべてに○となっている事で、非常に答えづらいと思いました。	アンケート調査につきましては、業者委託し、回答項目等調査票の精査を依頼予定です。ご指摘事項を踏まえて検討したいと思います。
4	委員	健全で安全な食生活を実現するための食育には健全な口腔機能を維持できていることも欠かせないと思うのですが、「歯の健康について」の質問が全て削除されたことは残念です。きちんと噛める。食事ができる状態にあるからこそ、野菜料理などもおいしく食べられると思う。噛めないことが原因で食事がおろそかになっている人は多いと思う。	まず、前回のアンケート調査の際、設問項目が多いという複数意見があったことから、設問数を少なくする方向で検討しています。歯科の質問については、本市が行う20～70歳までの5年に一度の節目健診である「成人歯科健康診査」の問診票に同様の設問項目があり、年度ごとに集計、評価していることから、削除しても可能だと判断したものです。
5	委員	P12「共食」は指標であるため質問する旨は、追記してほしい。	「共食」は指標ですが、コロナ禍では「楽しく食べる」ことや「家族や友人と楽しく食卓を囲む」ことは設問として馴染まないと思える可能性もあるため、設問表記を検討したいと思います。
6	委員	質問9、15の「楽しく食べる」や「家族や友人と楽しく食卓を囲む」でコロナ禍であるときは細心の注意をしながらとかの注釈をつけて入れてはいかがでしょうか。	上記と同様ですが、ご意見を参考にさせていただきます。
7	委員	一般向けには、食費に関する聞き取りを行ってみてはいかがでしょうか？一食にかかる食費、月の食費等、そこから見えてくることもあることかと考えます。	家庭環境が栄養状態を左右することもありますので、ご意見を参考に、設問を検討したいと思います。

②小学生用

意見・質問あり

1	委員	食べない悩みの場合に進み具合(食形状や調理方法、味付け等)や食環境、食べさせ方など、具体的な助言や技術支援で食べるようになった等、今後は保健師等と連携し、健康相談や健診等で見ていただきたいです。	事業実績シートp12「訪問栄養指導」の期待される効果に記載しましたが、乳幼児に対して保健師と連携して支援を行っており、訪問に限らず乳幼児健診でも個別栄養相談を実施しています。今後も継続していく予定です。今回の小学生のアンケートを実施することでまずは実態の把握をしたいと考えます。
2	委員	学校で、お伝えできる時間を入れて頂けたら、と思います。	学校と相談し、「いきいき健康教室」という出前型の教室において朝食の大切さや食育に関することなどをお伝えする機会を設けたいと思います。
3	委員	小学生が、8-2の質問で4に○をするのは、かわいそうだと思います。例えば「朝ごはんが用意していないから」は何故ですか？朝食を用意してもらえなくても冷蔵庫にある牛乳やチーズを食べて登校する小学生になって欲しいと思います。	①一般用3の柴田委員の質問に対する回答と同じ。
4	委員	低学年の児童に対しては質問数が多い様に思います。食育の事業として1時間きちんと時間があてられ、先生からの説明もあるなら出来ると思う。	担任の先生から説明をしていただくように依頼をする予定です。
5	委員	設問10の誰と食べるか？について、夕食だけでなく、朝食を含むのはいかがでしょうか？	朝食についても、夕食と同じように、誰と食べるかを設問としたいと思います。
6	委員	2 1. 男 2. 女 5-2 1. いつも言っている(削除) 11-1 食べ物の栄養について(追加) 12. 5. 分からない(削除) 11 4. わからない→話していない(変更) ※以上5点が気になりました。参考にさせていただければと思います。	2 一般と中高生用のアンケートには、「答えたくない」を追記しましたが、小学生の場合、2. 4. 6年生を対象と考えていたため、自分の性を自認する時期がいつ頃なのかが分からず、男女の選択肢のみにしましたが、検討したいと思います。その他、回答項目については、参考にさせていただきます。

③中高校生用
意見・質問あり

1	委員	一般と同様に、朝食を食べない理由を追加しても良いかと思う。食べないのか食べられないのか。	中学生にも、朝食を食べない理由の質問の記載がアンケートの6頁に、記載してあります。なお、小学生にも同様の質問を設けています。朝食欠食は食育における重要課題でありますので、食べない理由は必須項目だと考えます。
2	委員	食育に関心をもち、自ら食生活の改善に取り組む 将来の健康を意識する 食に関する正しい知識の取得	「若い世代に対する食育推進」は、第3次食育推進計画においても、積極的に推進していく必要があります。アンケート結果をもとに課題を明確化し、若い世代が関心を持てるような内容で、学校や地域とも連携して支援していきます。
3	委員	学校で、お伝えできる時間を入れて頂けたら、と思います。	②小学生用の宮崎委員さんの質問に対する回答と同じ。
4	委員	この質問に答えることが食育になっているように感じられました。中学・高校生が自身の食生活を見直す機会になると思います。中学・高校生の食育に力を入れてほしいです。	③中高校生用2の曾我委員さんの質問に対する回答と同じ。
5	委員	今年度末までに中学生全員にタブレットの配布が行われるので、調査も紙ではなくタブレットを活用してもよいのでは？集計作業も早いのではと思う。削除予定の食事バランスガイドですが授業でもわかりづらいとの理由であまり使われないそうです。「1日30品目」を目安にと教えられるそうです。	小学生および中高生のアンケートについては、県、市教育委員会を通して依頼することから、タブレットの活用も含め、効果的にアンケートを実施出来るように調整したいと思います。
6	委員	質問4のところ朝食を食べることの大切さについて、を入れたらどうでしょうか。	朝食欠食は本市における重要な栄養課題でもありますので、回答項目に追加することも含め、食育に関心の薄い若い世代にアプローチ出来るよう検討していきたいと思えます。
7	委員	P7のコンビニで利用する品物の中にサンドイッチをパンというだけでなく入れたほうが良いのでは。パンは、菓子パン、サンドイッチ他の方が分かりやすいと思う。	こちらの問いは、今後健康教育をする際に、自分で購入する際どんなことに気を付けて選んだらいいかを伝えるための実態調査と捉えております。回答項目を見直し、実態に合った内容で聞き取りできるように検討します。

議事4 その他

意見・質問あり

1	委員	食育の大切さを、もっと多くの方々にお伝えして頂きたいです。	集いの場で対象者のライフステージに応じた食育について周知をして参りましたが、令和2年度に関してはそういった場が少なかったため、ホームページで食育に関する周知を行いました。「まえばし食育の森」ではレシピや食に関する情報を掲載しています。今後も状況に応じた食育情報の発信を実施し、多くの方にお伝えできればと思います。
2	委員	議事2にも記載させていただきましたが、今後はさらにSNSの活用などのしていくと良いと思います。	令和2年度は健康教室が中止になり、伝える機会が少なかったためSNSを通じ情報の発信を行いました。令和3年度は教室も再開する予定ですので、SNSの情報発信と併用して事業を進めていくことを計画しています。